

## 2 Ver.19.30からVer.19.33について

### 2.1 追加機能

Ver.19.31、Ver.19.32

Ver.19.31、Ver.19.32についてのマニュアルの変更内容はありません。

Ver.19.33

番号	項目
1	☞「2.1.1 新しいCVPに対応しました。」
2	☞「2.1.2 ホットフォルダ（オプション）を使用時、オーダーのすべてのプリントをプリント受け皿に排出できるようになりました。」

#### 2.1.1 新しいCVPに対応しました。

オプションのCVPが新しいものになります。

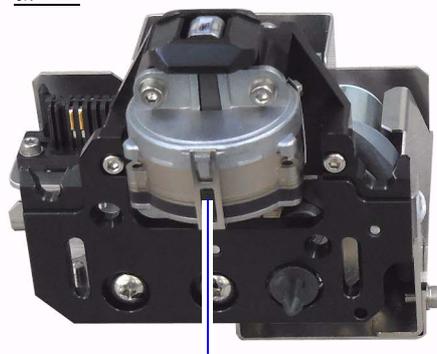
それに伴い、プリンターソフトも変更されていますが、画面上での表示や操作方法に変更はありません。



**重要**

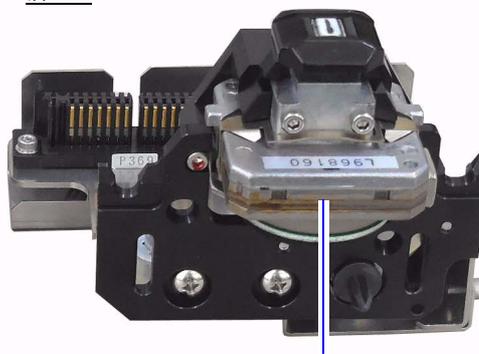
- 新CVPが装着されている場合は、必ず以下のソフトが必要です。
  - プリンターソフト：Ver.19.33以降
  - EZ Controller：Ver.8.10以降
- 裏印字の仕様が変わります。
  - 印字仕様の詳細については、EZ Controller Ver.8.10以降のマニュアルをご覧ください。
- 新旧のどちらのCVPが装着されているかは、画面上では判別できません。以下のように、実際に装着されているCVPの形状の違いで判別してください。

新CVP



印字ヘッド部の下部が円状になっている。

旧CVP



印字ヘッド部の下部が四角状になっている。

G107203

- CVPの取り付け取り外し、リボンカセットの交換の仕方については、旧CVPと変わりません。

#### 2.1.2 ホットフォルダ（オプション）を使用時、オーダーのすべてのプリントをプリント受け皿に排出できるようになりました。

ホットフォルダ（オプション）を使用時、ホットフォルダからオーダーのすべてのプリントをプリント受け皿に排出するように指定があった場合、プリントサイズに関わらずすべてのプリントをプリント受け皿に排出します。



**重要**

- この機能を使用するには、ホットフォルダ Ver.4.4以降と、EZ Controller Ver.8.20以降が必要です。コマンドファイルについては、ホットフォルダの「コマンドファイル仕様」をご覧ください。
- プリントサイズが「ペーパー幅：152mm以下、送り長さ：254mm / 305mm以下（設定による）」の場合は、通常2列搬送でプリントしていますが、この場合はすべて1列搬送になるため、通常に比べプリントに時間がかかります。

## 3 Ver.19からVer.19.30について

### 3.1 追加機能

#### 3.1.1 Windows11上でメンテナンスアプリケーションを使用できるようになりました。

使用できるWindows11は以下のとおりです。

- Windows11 Pro 64bit版（日本語版、英語版）



**重要**

- Administrator権限のみ使用できます。
- ユーザーアカウント制御はOFFで使用してください。
- Windows11を新規インストールした場合に使用できます。  
旧のOSからWindows11にアップグレードする場合は、いったんメンテナンスアプリケーションをアンインストールし、Windows11にアップグレードした後に、メンテナンスアプリケーションをインストールしてください。  
メンテナンスアプリケーションをアンインストールせず、Windows11にアップグレードした場合は、動作保証できません。
- パソコンの推奨スペックは、EZ Controller等の入力機器でWindows11を使用する場合に必要なスペックと同等です。
  - タッチパネルに対応したパソコンを使用する場合は、通常のタッチするだけの操作は可能ですが、スワイプ、フリック、ピンチなどのような特有の操作はできません。

#### オプションのWindows11対応について

オプション	対応/未対応	注意事項
Noritsu Quick Access	未対応	
QSS プリンタードライバー	対応	Windows11に対応したバージョンであれば、使用可能。